

# 「日本近世生活絵引」の世界： 琉球人行列と江戸編



2021.10月23日(土)

13:00-16:00

オンライン (Zoom ウェビナー) で開催

参加無料  
事前申込み

## プログラム

開催挨拶 小熊 誠 (神奈川大学非文字資料研究センター長)

報告 渡辺 美季 (東京大学准教授)  
「絵引から見た琉球人行列と江戸」

丹羽 謙治 (鹿児島大学教授)  
「『琉球人行粧之図』『琉球人往来筋賑之図』の  
作者と伝来」

橋口 亘 (南さつま市教育委員会主査)  
「『琉球人往来筋賑之図』『琉球人行粧』に描かれた江戸の  
瀬戸物店・古道具店・大名屋敷の井戸と琉球人行列の  
提灯・弁当」

高津 孝 (鹿児島大学教授)  
「二次元芸術としての絵画の記録性について」

総合討論

画像出典：上「琉球人行粧 巻二」・下「琉球人往来筋賑之図」(ともに鹿児島大学附属図書館蔵)

## お申し込み・お問い合わせ

【申込方法】 下記の URL または QR コードよりお申し込みください。非文字資料研究センター HP からもお申し込みいただけます。お申し込みいただいた方には、後日メールで参加用 URL をご案内いたします。

【申込締切】 10月19日(火) 16:00

【お申込みフォーム URL】 <https://forms.gle/hcZFy1gZ3CM9kvTr5>  
(↑クリックで開きます。)



お申込みフォーム

※公開研究会参加希望で『日本近世生活絵引 琉球人行列と江戸編』をお持ちでない方は、神奈川大学学術機関リポジトリからご覧いただけます (<https://onl.tw/pqjvcvz>)。リポジトリ閲覧が難しい方には印刷版を一部お送りしますので、お申し込みフォームに住所をご記入ください。

【お問い合わせ】 神奈川大学非文字資料研究センター  
Email. [himoji-symposium@kanagawa-u.ac.jp](mailto:himoji-symposium@kanagawa-u.ac.jp)  
Tel. 045-481-5661 (内線 3533)



神奈川大学非文字資料研究センター HP

# 「日本近世生活絵引」の世界： 琉球人行列と江戸編

## 開催趣旨

神奈川大学非文字資料研究センターでは、日本常民文化研究所による『絵巻物による日本常民生活絵引』の研究から受け継いだ「日本近世生活絵引」の研究を継続的に行ってきました。絵引研究とは、絵画を題材として、各場面に描かれた事物や行為を抽出して名称を付し、また場面全体の概要を読み取って、当時の人々の生活を歴史学的かつ民俗学的に解明していこうという趣旨の研究です。

2011-13年度に奄美・沖縄編、2015-16年度に南九州編を編纂し、それらの研究蓄積を発展的に継承すべく2017年度から3年かけて琉球人行列と江戸編を編纂しました。取り上げたのは、江戸勤番中の宇和島藩士が1850年に参府した琉球人の使節行列と行列通過前後の町の様子を描いた『琉球人行粧』2巻・『琉球人往来筋脈之図』1巻（鹿児島大学附属図書館蔵）と、1915年に作成されたその写本（鹿児島県立図書館蔵）です。これまで詳細に検討されたことのないこの絵図に対し、絵引編纂を通じて分析・考察を行った結果、様々な興味深い事実や検討すべき論点が見えてきました。本研究会ではそれらを詳しく披露し、この絵引の世界について理解と議論を深めたいと思います。

## 講師プロフィール

### ●渡辺 美季 [わたなべ みき]

(東京大学大学院総合文化研究科准教授)  
専門は琉球史・東アジア海域史。  
著書に『近世琉球と中日関係』（吉川弘文館）などがある。

### ●丹羽 謙治 [にわ けんじ]

(鹿児島大学学術研究院法文教育学域法文学系教授)  
専門は日本近世文学・日本近世文化史。  
著書に『薩摩藩文化官僚の幕末・明治 木脇啓四郎『萬留』一翻刻と注釈一』（岩田書院、共編）などがある。

### ●橋口 亘 [はしくち わたる]

(南さつま市教育委員会生涯学習課主査)  
専門は歴史考古学、地方文化史。  
共著に『日本史学のフロンティア1』（法政大学出版局）などがある。

### ●高津 孝 [たかつ たかし]

(鹿児島大学学術研究院法文教育学域法文学系教授)  
専門は中国古典文学・中国書誌学。  
著書に『博物学と書物の東アジア—薩摩・琉球と海域交流』（榕樹書林）などがある。

画像出典：「琉球人行粧 巻二」（鹿児島大学附属図書館蔵）

